

2019 年 9 月 26 日 石油連盟

タンク浮屋根ポンツーン/デッキ 仮補修材油種別使用実績調査結果

	補修材構成	製品名	製造会社	内容物(貯蔵油)との相性として注意している点、その他特記事項
A 社 A 社 B 社 C 社 E 社	デブコン	デブコン AQ デブコン SF デブコン デブコン SF	デブコン ITW パフォーマンスポリ マーズ&フルイズジャパン	A 社：油分が残っていると、上手く止められないため、タンクの液レベルを一旦下げる、もしくは何らかの措置(仮補修材と接触しないように)をしてから施工することとしている。 B 社：経時的に剥離が生じ、3 ヶ月から半年程度で再補修が必要となると思われる。 C 社：耐アロマ 70%までの油種に対し膨潤性は無い。70%を超える油種については使用実績無し。 E 社(B)：特に無し
A 社	止水セメント	ライオンシスイ 105	住友大阪セメント	A 社：油分が残っていると、上手く止められないため、タンクの液レベルを一旦下げる、もしくは何らかの措置(仮補修材と接触しないように)をしてから施工することとしている。
A 社		ショウワ止水剤 P	昭和電工建材	A 社：油分が残っていると、上手く止められないため、タンクの液レベルを一旦下げる、もしくは何らかの措置(仮補修材と接触しないように)をしてから施工することとしている。
A 社	①FRP 樹脂 ②と組合せ	リボキシ R-804 リボキシ R-804B	昭和電工	A 社：油分が残っていると、上手く止められないため、タンクの液レベルを一旦下げる、もしくは何らかの措置(仮補修材と接触しないように)をしてから施工することとしている。
	②補修マット (繊維系)	チョブドストランドマット 平織クロス サーフェイスマット	日東紡	
A 社	シーリング材	トプコール SP	東レ・ファインケミカル	A 社：油分が残っていると、上手く止められないため、タンクの液レベルを一旦下げる、もしくは何らかの措置(仮補修材と接触しないように)をしてから施工することとしている。
B 社	シリコンコーキン グ			B 社：経時的に剥離が生じ、3 ヶ月から半年程度で再補修が必要となると思われる。
D 社		1 層目：ファススティック 2 層目：Three Bond 液状ガス ケット 1215	デブコン スリーボンド	D 社：特に無し

D 社		1 層目：ウルトラシール 2 層目：ウルトラパッチ 3 層目：ウルトラシール	阿南電機	D 社：特に無し
E 社		1 層目：MM-メタル oL スチールセラミック(赤硬化剤又は黄硬化剤) 2 層目：MM-エラストマー	マルチメタル	E 社(A)：特になし（アロマ含有率最大 99%の芳香族で実績有り） E 社(F)：耐油性があり、即効性があるものを選定している E 社(G)：ガソリンおよび高アロマー含有ナフサでは硬化時間が掛かる。特に硬化時間について、スチールセラミックは硬化剤の違いにより 2 種類ある E 社(H)：燃料油に対する抵抗性を有していることをメーカーのデータシートで確認している
F 社		塗膜剥離材:スケルトン S-301 MM-メタル oL スチールセラミック MM-エラストマーNo.962 硬化剤 EL-95	ミキ塗料 マルチメタル マルチメタル	F 社：主に原油が対象であるが、油用なので他の油でも適用可
E 社		1 層目：フィックスオール・新アクア 2 層目：ウルトラシール (US-1000) 3 層目：MM エラストマー95		E 社(J)：60%アロマ含有ナフサで膨れ事例有り（原因調査中）
E 社	エポキシ硬化剤 パテ アクリル樹脂硬化剤シート ゴム質ウレタンエラストマーパテ	1 層目：ピグパティ 2 層目：Zip – Patchi 3 層目：MM エラストマー95		E 社(I)：
E 社		フレクサン 80P	デブコン	E 社(C)：原油タンクのみ実績有り、補修部の滲みが再発して再補修ケース有り
E 社		シリコンシーラント 8051N	セメダイン	E 社(C)：原油タンクのみ実績有り、補修部の滲みが再発して再補修ケース有り
E 社		スーパーメタル 1111	ベルゾナ	E 社(D)：
E 社		マジックボンド デブコン A Q		E 社(E)：メーカーカタログ耐薬品性一覧における対炭化水素との相性確認、メーカーカタログ値による耐熱温度確認